



フォレスターうじ 会報

第284号

令和4年10月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

九月定例活動

森の木工体験会と

二十五周年記念事業 トーテムポールの制作
フォレスターうじの森の整備

活動日 九月十八日(日)曇

活動時間 九時半〜十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十六名 入会希望者一名

森の木工体験会三名

この日(九月第三日曜日)は森林ボランティアの日である。非常に強い台風十四号の接近を気にしながらの活動であった。

朝の深田会長の挨拶の中で、多くの会員が該当する敬老の日を迎え、各会員の長寿を祈念して一本締めが行われた。事務局からの連絡事項としては、会の発展に長年尽くされた元会員の平正次郎さんが八月に亡くなられたこと、十一月に行われる研修会の参加希望者の中間確認などであった。水野会員の発声による安全十カ条の唱和、ラジオ体操を行い活動に入った。

午前中は先月に引き続きトーテムポールの制作とフォレスターうじの森の整備、午後は木工体験会として野鳥の巣箱作りを行った。

このところ毎月の活動でトーテムポールの制作を続けており、ノミの使い方にも慣れてきたようである。思い思いに描いた絵の輪郭の溝も深く掘られており色付けして出来上がりを楽しみである。

水野会員以下六名は、大屋根休憩所近くに「二十五周年記念フォレスターうじの森」を設けるため、雑木の伐採等の整地を行った。

午後からは木工体験会としての野鳥の巣箱作りを行った。参加申し込みは藤原会員のお孫さん

一人だけだったが、一緒に来られたご両親も飛び入りで参加することになった。久保田会員の説明があった後、それぞれ思いのままに制作に取り組んだ。小鳥が入りやすくなる孔や水はけのための孔を開けるのを新宮会員と加地会員が担当した。底板がうまくはまらず苦労したところもあったがそれなりに工夫して対処し、皆さん熱心に取り組み楽しい体験をされたことと思う。木曾会員は早々に完成させ、広場横の木に取り付け満足そうだった。終了の時間までにはなんとか全員作り終え、巣箱は次回以後に機会をみて掛けることにした。

この体験会の取材のため京都新聞と洛タイ新報の記者が来られ、活動の様子を写真に収めていた。巣箱作りに参加されなかった会員は引き続きトーテムポールの制作に取り組んだ。

心配された雨や風にも見舞われることなく午後三時過ぎ無事活動を終えることができた。

(記 久保田 敏弘)

(追記)

二十五周年記念樹分科会は、大屋根休憩所からもみじの道にかけての一带を「フォレスターうじの森」と名づけ、コナラなどのどんぐりの森を整備しようと、ようやく今月から取り組み始めた。

今回は午前中に直径十〜十五cmの雑木三本と他細い雑木十本ほどを除伐し、積み込みをした。六名ほどの少人数での活動だったが、まずは良いスタートだった。

(記 水野 民雄)



9/18 直径15cmの雑木を伐倒して一息 (写真 林幸広)



9・18 (右) 森の木工体験会 野鳥の巣箱作り
(左) トーテムポール ノミで彫刻中



エッセイ

九／一八（日）野鳥の巣箱作りに参加して

森の木工作体験会参加者 藤原 史一

初めての経験でとても楽しかったです。過去、植樹や木工の他のイベントには参加したことはありませんでした。ただ、今回のようにのこぎりや金槌などを使って、本格的に木を切ったり、釘を打ちつけたりするのには、自分自身、子供の時以来だったので想像よりも苦戦しました（笑）。

今回は家族で参加させていただいたのですが、小学校一年生の娘はのこぎりや金槌を使うのがほぼ初めてだったので、大変だったようです。楽しみつつもなかなか切れない、釘を打てないと良い経験ができました。見本のようにバッチリ、とはいきませんでした。何とか鳥が入ってくれそうなレベルの巣箱ができたのではないかと思います。

設置はまだですが、秋以降、鳥が実際に使ってくれることを想像するとワクワクしています。次のイベントに参加した際に、良さそうな木を見つけて設置させていただきま

普段の生活の中で、実際に木を切ったり組み立てたりと木に触れる機会が昔に比べて減っているためか、久々に木に触れると、懐かしいような心が温まるような不思議な感覚になりました。今後も定期的に参加させていただき、木に触れることを続けていきたいと思っています。今回はありがとうございました。今度もよろしくお願



9/18 森の木工作体験会
野鳥の巣箱作り

エッセイ

ボランティアの会が二十五周年

松川 正廣

私が加入する森林ボランティアの会が、二十五周年を迎えた。森林整備活動などに貢献し、林野庁長官、京都府知事、宇治市長から表彰された。

私は入会して二十年になる。会は1997年、府の「交流の森林づくり事業」の一環として、宇治市民参加による「健全な森林づくり」として天ヶ瀬森林公園で発足した。三年後に会員の自主活動に移行、現在に至っている。活動は、森林公園を拠点に下草刈り、徐間伐や散策路などの整備、間伐材を生かした丸太ベンチや木工製品の制作、植樹、シイタケ栽培、ドングリ苗木の育成などを行っている。

会は節目節目に記念行事を行ない、今年は三つの分科会（記念研修会・記念ミニイベント制作・記念樹）を立ち上げている。

次の節目は2027年の三十周年である。参加できるように健康管理に努め、微力ながら二酸化炭素削減のため活動したい。

（京都新聞・令和四年八月三十日「読者の声」欄掲載）

森林ボランティアの一日体験

毎月第三日曜日

フォレストアージュ広場に九時三十分集合

天ヶ瀬森林公園で、地球温暖化対策のための森林保全活動を体験しませんか。ご興味のある方は、フォレストアージュ事務局までご連絡下さい。いっしょにいい汗をかきましょう!!

今後の活動・行事の案内

令和四年十一月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、「活動案内」でお知らせします。

十一月定例活動

十一月二十日（日）天ヶ瀬森林公園

・二十五周年記念事業の継続

十一月特別活動

十一月六日（日）七日（月）

・二十五周年記念研修会

兵庫県栗市 県立国見の森公園

十一月二十七日（日）生涯学習センター

・宇治環境フェスタに協力

どんぐりプロジェクト

フォレストアージュからのお報せ

フォレストアージュは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

森林ボランティア フォレストアージュ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

Tel 090-9270-0763



編集後記

市民の方に森林に興味を持ってもらうため、色々な行事をしています。十月は森の音楽会、是非森林公園まで。

（会報担当 木曾 宗統）

（写真担当 久保田敏弘）

